

# 富医ニュース

No.621 令和5年3月1日

一般社団法人 富田林医師会

会長 藤岡 洋

〒584-0082 富田林市向陽台1丁目3-38

TEL.(0721)29-1210 FAX.(0721)28-0858

E-mail: mail@tondabayashiishikai.jp

## 令和5年 新年互礼会

令和5年1月28日(土)、スイスホテル南海大阪で、富田林医師会新年互礼会が開かれました。当日の参加者は39名でした。この日は、雪が降るかもしれない寒さでした。

午後6時から児嶋副会長の司会ですすめられ、初めに藤岡会長の新年の挨拶も、コロナのために延期されていて久しぶりの医師会新年互礼会が開催され、皆さんの元気な姿を拝見し、安心されたことが話されました。次いで済生会富田林病院院長、宮崎俊一先生よりの挨拶の後、PL病院院長進藤勝久先生の乾杯の発声で宴会の開始となりました。次いで済生会富田林病院 辻江正樹先生、中本進先生、今西正昭先生、PL病院 西村章先生、森田謙一先生、汐見幹夫先生、松倉登先生、橋本清保先生、青山真人先生、塚本義貴先生と挨拶されました。各先生同士の会話も弾み、盛会のうちに赤松副会長の閉会の辞でお開きになりました。



### 調整日

2月分 3月8日(水)  
PM3:00まで

3月分 4月6日(木)  
PM3:00まで

### 3月の予定

- 8日(水)・調整日
- 10日(金)・理事会
- 13日(月)・訪問看護ステーション  
運営委員会
- 16日(木)・病診連携会  
(PL病院)
- 24日(金)・広報調査委員会
- 27日(月)・広報調査委員会  
(校正)
- 28日(火)・休日診療委員会
- ・感染症対策委員会
- ・予防接種研修会  
(外来感染症対策  
カンファレンス)



## 令和5年 2月定例理事会

日 時 令和5年2月10日(金)

13:30~15:00

場 所 医師会 大会議室

### 会長挨拶

### 報告事項

- 1) 予防接種の間違い接種に関する救済制度について (感染症対策委員会)
- 2) 5/8 コロナ5類移行後の発熱患者等への対応について (休日診療委員会)
- 3) 災害時用発電機寄贈の報告 (救急災害委員会)
- 4) 日医かかりつけ医機能研修制度における修了申請について
- 5) 令和5年度河南町保健事業に係る医師の派遣について
- 6) 予防接種実施規則の一部を改正する省令の公布について
- 7) 富田林老人ホーム入所判定委員会への委員の推薦について→中平先生
- 8) 令和4年度大阪府南河内保健医療協議会の開催について
- 9) 大阪府医師国民健康保険組合令和4年度第2回通常組合会開催について

### 協議事項

- 1) 入退会の件
- 2) 他市医療施設管理医師による富田林医師会入会希望について
- 3) 2023年度会務分掌と委員会構成
- 4) 富田林市よりHPV(子宮頸がん)ワクチン、肝炎ウイルス検診の単価の変更について



## 富田林医師会予防接種研修会のご案内

3年振りに自治体と共催する予防接種研修会を下記日程で開催します。並びに第4回外来感染症対策カンファレンスを兼ねるものとします。

記

日時 令和5年3月28日(火) 14:00~15:30

会場 医師会 大会議室

### 内容

- 1) 予防接種事業・実施上の注意・確認事項等の説明(市町村担当課)
- 2) 令和4年度定期予防接種に係る間違い接種について(市町村担当課)
- 3) 研修会 「確実に間違いなく予防接種を行うために」 講師 ふじおか小児科 藤岡雅司先生
- 4) 質疑応答

※本講演は、大阪府医師会生涯研修システム登録しておりますので、生涯教育チケットをご持参下さい。生涯教育制度1.5単位、取得カリキュラム「3」、「9」、「11」を申請中です。また、大阪府医師会指定学校医認定研修の申請もしております。

## 第51回 富田林医師会病診連携会

日時 令和5年3月16日(木) 14:10~15:10

会場 PL病院 3階 会議室⑥

形式 ハイブリッド〔現地開催・Web配信

(Zoomウェビナー)同時開催〕

教育講演 14:10~14:40

座長 PL病院 泌尿器科部長 中村 敬弘 先生  
『最新の泌尿器科診療』

演者 PL病院泌尿器科副部長 青山 真人 先生

ディスカッション 14:40~15:10

座長 PL病院 泌尿器科部長 中村 敬弘 先生  
『富田林市における泌尿器科診療の最前線』

演者 PL病院泌尿器科副部長 青山 真人 先生  
おき泌尿器科クリニック院長 沖 貴士 先生

※上記日程にて開催されますが、日頃お世話になっている先生方との連携会ですので奮ってのご参加の程よろしくお願い致します。

※日本医師会生涯教育講座 カリキュラムコード: [65・66]

## 専門医より一言

### 「地域で取り組む慢性腎臓病(CKD)診療」



PL病院 腎臓内科  
副医長 兵頭 正浩 先生

慢性腎臓病の有病率は高く、成人のおよそ8人に1人の割合であると言われている。高齢になるにつれ有病率も上昇すると考えられており、ここ富田林市も高齢化が進行しているため地域を挙げての慢性腎臓病に対する治療が必要になってきていると考えられる。地域の診療所より、慢性腎臓病の患者をCKDガイドライン2018の紹介基準に準じPL病院にご紹介いただき、紹介後の当院での検査、加療の一部を紹介させていただいた。慢性腎臓病の加療は原因の精査とともに生活習慣の見直しを始めとした食事療法や禁煙、運動療法が必要になってくると考えられる。さらには薬物療法や腎代替療法と治療は多岐にわたっている。また、併存する合併症の加療として高血圧や糖尿病の加療、心血管疾患の合併症の予防、カルシウム、リンを中心に骨代謝、トランスフェリン、ヘプシジン、エリスロポエチンを中心とした鉄代謝を改善し貧血の加療に至るまで集学的な治療が必要になってきている。

写真を交え、PL病院の紹介を挟み、PL病院での栄養指導や病院での治療食を具体的に提示させていただいた。慢性腎臓病に対する治療として、比較的良く使用する薬剤(具体的には降圧薬やSGLT2阻害薬、ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬、HIF-PHD阻害薬、活性化ビタミンD製剤、カリウム吸着薬、リン吸着薬等)を紹介させていただいた。その後当院での加療が安定した場合、地域の診療所での加療の継続の願いと再紹介の基準をお話しさせていただいた。また、療法選択外来や腎センターの紹介もさせていただいた。選択外来での腎代替療法(血液透析、腹膜透析、腎移植)さらには腎代替療法を選択しない保存的腎療法のお話もさせていただいた。

## バトンタッチ(第6回) 歌舞伎ミニ辞典

今回はコロナ禍での、歌舞伎公演の実態を述べさせていただきたいと思います。2020年3月～7月は緊急事態宣言が発表されたりして、歌舞伎だけでなくあらゆる劇場公演が中止となっていましたが、感染者数の減少もあり2020年8月からはある程度大きな劇場は再開されました。再開された当時は、最前列と花道横の席は役者の飛沫が飛んでくるかもしれないとのことで無観客、観客の周りは前後左右すべて一つ空けての着席、すなわち5分の1以下の観客数で始まりました。



2020年8月の歌舞伎は猿之助が出演していて「やっと歌舞伎が再開できた」との喜びの口上があった記憶があります。幕が上がると、普段と極端に少ない5分の1以下の観客ですが割れんばかりの拍手が長い間続いていたように思います。飛沫が飛ぶとの事で歌舞伎の「成田屋」とか「高麗屋」とかの掛け声、「大向う」はもちろん禁止、幕間の食事も禁止になっていました。

コロナ前は、昼の部、夜の部の二部制で各部芝居が2～3で踊りが1の構成でしたが、コロナ禍では三部制となり各部芝居が1、踊りが1の構成となりました。こうなると役者の人気、不人気がよくわかるのです。各部の人気が観客数に反映されます。普段なら土曜日、日曜日には観客が多いはずなのに、一部は満員なのに、二部はガラガラというのがよくありました。仁左衛門、玉三郎の人気がよくわかりました。「成駒屋さん」女にうつつを抜かしている場合ではないですよ。

## 2月行事・会合

8日(水)・調整日

9日(木)・学術講演会

10日(金)・理事会

20日(月)・訪問看護ステーション運営委員会

21日(火)・広報調査委員会

24日(金)・広報調査委員会(校正)

28日(火)・休日診療委員会

役者同士でも、各部総入れ替えをしていたようで、各部を通して出演というのは原則禁止だったようです。楽屋内でも役者同士が互いに会わないよう心掛けていたようです。それでも、役者がコロナに感染して、公演が中止になるということもしばしばありました。

2021年になると約半分の観客、2022年になると約3分の2の観客と増えていき、2022年11月・12月の団十郎襲名披露公演の時には、花道の横の席のみ無観客という状態まで戻りました。お弁当も黙食でなら可、大向うも決められた人が掛けるなら可となりました。ただ、いまだ三部制のままなのです。三部制の場合私事ですが、土曜日診療を終わってから伊丹に走り2時か3時の羽田行きに乗り、日曜日夕方の羽田発で帰阪する身にとっては、二部制でしたら3時半から4時頃終了するので、遅くとも7時頃には伊丹に着くのですが、三部制の時には5時～6時頃終演になるのが普通で、関空に9時半頃着くというようなこともありました。

しかし、今年4月からは二部制に戻るとの事、やっと元の状態になるようです。後はマスク着用の原則がどうかですね。

今年の7月大阪松竹座の歌舞伎公演は、団十郎襲名披露公演でしょうから久しぶりに医師会で歌舞伎を観に行くというのはどうでしょうか。

以上、「コロナ禍での歌舞伎公演の実態」の話をいたしました。  
(堀野俊男)



## 原稿投稿のお願い

富医ニュースを今後さらに充実したものとするために、会員の声・意見、研究報告、紀行文、感想文、思い出、随筆、詩、短歌、俳句、写真などの様な内容でも結構ですので医師会事務局までご投稿お願いします。

(広報調査委員会)

○会員数(3月1日現在) 172名

A会員 93名 B会員 78名 C会員 1名

○入会 なし

○退会 なし

○異動 なし

## 広報調査委員会

委員長	齊藤 謙介	副委員長	森井 秀樹
委員	青山 賢治	天城 完二	今城 幸裕
	植村 匡志	江村 俊也	奥野 敦史
	尾多賀 雅哉	遠山 佳樹	中村 元
	藤岡 洋	山本 善哉	山本 秀文